

令和4年度 第1回吉田高校学校運営協議会

令和4年4月10日（日）
9：30～
吉田高校朝日子ホール

次 第

- 1 開会の言葉
- 2 委嘱状交付
- 3 学校長あいさつ
- 4 学校運営協議会委員、学校職員紹介
- 5 吉田高等学校学校運営協議会会長等選出（互選）
会長・副会長挨拶
- 6 議事
 - （1）令和4年度吉田高等学校学校運営方針について
 - （2）令和5年度生徒募集について
 - （3）令和3年度山梨県立吉田高等学校学校評価計画について
 - ① 令和3年度学校評価報告書について
 - ② 令和4年度学校評価報告書について
 - （4）その他
- 7 連絡事項
 - （1）令和4年度年間行事予定について
 - （2）生徒会部活動について
 - （3）「総合的な探究の時間」等について
 - （4）その他
- 8 閉会の言葉

スクール・ミッション 及び スクール・ポリシー

1 県立学校としての吉田高校のミッション

吉田高等学校は、富士・東部地域唯一の理数科をもつ伝統校であり、地域に根ざしたコミュニティ・スクールとして、主体性や探究心を高めるとともに、高度な情報社会を生き抜く力を育て、郷土を愛する心をもった日本のリーダーとなる人材を育成する学校を目指します。

2 スクール・ポリシー (吉田高校スクールポリシー (YSP))

スクール・ミッションを達成するために、本校では、「純剛」(明るく爽やかで、意志強く、飾らないこと)と「百折不撓」(何度困難にあっても決してくじけないこと)の校訓のもと、学習(「文」)と部活動(「武」)を両立させるとともに、文と武の双方において、感謝の心・友情・心身の鍛練・情操の涵養を図ります。「質の高い文武両道を保障する環境」の中で、次の教育方針に従って高等学校教育を行います。

○目的:「Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する」

※Yoshida PRIDE とは・・・

「何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心」を表します。

※未来を生き抜くためには・・・

過去に学び、現在を知り、未来を考える手法を学ぶことが必要であると考えます。言い換えれば、「何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心(多様性を受容する姿勢)を持ち、過去に学び、現在を知り、未来を考える資質・能力を備えた生徒を育成する」を教育の目的とします。

3 グラデュエーション・ポリシー (吉高GP) (育成を目指す資質・能力に関する方針)

上記の目的を達成するために、「質の高い文武両道を保障する環境」と「地域社会の人的、物的資源を利用する環境」の中で、何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心未来を生き抜くことができる人材を育むために、次の汎用的な8つの力を3年間を通して身に付けることを目標とします。

吉高 GP の 8 つの力とは

- ① 自己肯定力 …… 短所も含めて、自分を認める力を身につけます
- ② 傾聴力 …… 他者の意見を謙虚に聞く習慣を身につけます
- ③ 分析力 …… 事実を客観的に分析する習慣を身につけます
- ④ 思考力 …… 物事を鵜呑みせず、「何故か」を考える習慣を身につけます
- ⑤ 発信力 …… 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法を身につけます
- ⑥ 想像力 …… 未来(結果)を考え、想像する力を身につけます
- ⑦ 創造力 …… 課題を解決する方法を創造する力を身につけます
- ⑧ 行動力 …… 自分の考えに基づき、行動する力を身につけます

4 カリキュラム・ポリシー（吉田高校CP）（教育課程の編成及び実施に関する方針）

複雑化・多様化する現代社会の現状を踏まえ、地域社会や我が国、世界が抱える現代的な諸課題に積極的に関わり、地域社会や日本社会、国際社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための領域横断的な学びに重点が置かれた、特色・魅力ある教育が求められていることに鑑み、吉高GPに示す資質能力を育むための教育課程編成及び実施の基本方針は以下のとおりです。

- （１）Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成するために、系統的な知識及び技能を育て、それらを活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、豊かな人間性を育み、そこから再構築された統合的な知見を身に付ける教育課程を編成しています。さらに、社会的課題の分析や解決に資する「見方・考え方」を鍛えていく最先端の学びを実現することを目指します。
- （２）各教科科目の学びから再構築された統合的な知見に関する学びや、地域社会の課題や魅力に関連させた実践的な学びなどにおいて、吉高GPに対応する学びとして、探究活動に取り組み、特色・魅力ある教育課程を編成・実施することを目指します。
- （３）教育課程の編成に当たって、普通科は、高度で多様な進路希望に応えるために１学年は全クラスフラット、２年次以降は、文系理系類型を開設しています。また理数科は、共通科目を中心に履修することができるよう必修教科科目を中心に配置し、２年次以降には、文系・理系の類型に分かれて履修できるようにしています。また教育課程の実施に当たっては、４５分授業×７校時制で受講時数を確保し、生徒の特質に応じて国語・数学・英語・地歴・理科などの教科でパート展開しています。
- （４）吉高GP実現のために、縦軸（３年間通じて）、横軸（教科横断）の視点で３年間の教育全体を俯瞰する教育課程の編成を目指しています。各教科・科目や総合的な探究の時間を各年次にわたって体系的に関連づけることにより、社会との関わりの中で生徒自身が自己の在り方生き方を考えるとともに、各教科・科目等と総合的な探究の時間を往還する学習を実現していくことを目指します。
- （５）「社会に開かれた教育課程の実現」と「高等学校を核とした地方創生の実現」の好循環の基盤づくりという観点からの体制構築が必要となることに鑑み、学校運営協議会をとおして地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体、社会教育機関、NPO法人、小中学校等との連携・協働を実現するネットワークの構築をすすめ、関係機関には、フィールドワーク先としての協力や社会人講師の派遣等による連携を求めて参ります。
- （６）大学進学を希望する生徒が多いことを踏まえて、多様な進路希望に応えるために、上級学校が求める知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢を身に付けることができる教育課程の編成を行います。また、必修履修教科科目以外に、学校設定科目を設置することを通して、生徒が希望する進路実現のための効果的効率的な教科科目の配置する教育課程の編成を行います。

5 アドミッション・ポリシー（吉田高校AP）（入学者の受け入れに関する方針）

- （１）本校の教育方針や特色、普通科・理数科の特性についてよく理解し、将来の目標を持ち、その実現に必要な課題に積極的に取り組む強い意志を持っている生徒を求めます。
- （２）周囲と協働できる豊かな人間性を備えている生徒を求めます。
- （３）グローバルな視野をもって主体的に行動し、リーダーシップを発揮できる生徒を求めます。
- （４）多様な能力・適性や興味・関心を持つ生徒が自分に合った進路を的確に選択できるようにするという視点から、学力検査や中学校が提出する調査書以外で、受検者の中学校段階までの多様な活動を評価して入学者を選抜します。
 - ①普通科においては、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が優秀で、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒や学習成績が優良で、体育活動あるいは文化活動において、県レベル以上の大会で優秀な成績を収めた生徒、または同等の能力を有している生徒のうち、高校入学後も引き続き諸活動に取り組もうとする強い意志をもつ生徒。なお、団体の場合は、中心となって活躍した生徒を求めます。
 - ②理数科においては、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が極めて優秀で、理数教科にも関心を持ち、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒を求めます。

6 学校経営目標

学校運営協議会設置を通して、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や学校運営への支援・協力を得ることにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。

- （１）学校内で行われるすべての活動を、「教育目標」の視点で繋ぎ、検証、改善を行うカリキュラ・マネジメントを推進する。
- （２）授業を基盤に、学校行事やクラブ活動に打ち込むことができる環境づくりを通して、生徒の主体性を育むきめ細かな指導に努める。
- （３）学校生活を通し、挑戦することや打ち込むことの楽しさを実感できる環境を提供する。
- （４）学校運営協議会の場を活用して地域社会の参画・協力を得て協議を行い、地域・家庭・関係機関と連携し、生徒の心に向き合った指導に努めるとともに、地域に開かれ信頼される学校、安全な学校づくりに努める。また様々な手段で積極的な情報公開に努める。
- （５）業務改善を進め、教員が生徒と向き合う時間を確保できる学校づくりに努める。

7 今年度の指導重点

高等学校学習指導要領の本格実施にあたり、教育目標・内容と学習・指導方法・学習評価の在り方を一体として捉えて、教育活動をさらに充実する。

- （１）生徒の知識活用力を高める
 - ① 吉高GPを常に意識し、生徒が主体的に参加する授業を実施する。

- ② 評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。
- ③ 生徒の個人用学習端末・校内のＩＣＴ機器を効果的に利活用すると共に、授業と連動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。

(2) 生徒の主体性を高める

- ① 常に「分析、思考、創造」を促し、発信する機会の提供を意識した指導を行う。
- ② 身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し」行動することができる生徒像を意識した指導を行う。
- ③ 自分の言動や行動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。
- ④ 「切替」と「集中」を意識した学校生活の指導を行う。

(3) 人とかかわりの中で生きていることを自覚させる

- ① 周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。
- ② 社会の一員として社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。
- ③ ユネスコスクールへの加入を通して他国の同世代の高校生とのネットワーク構築をめざす。
- ④ ESDパスポートを活用し、ボランティア精神を養う。
- ⑤ 礼節を重んじ、自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

8 今年度のスローガン

「やрмаいか」

※困難に立ち向かい「やってしまおう」という積極的な言葉

山 梨 県 立 吉 田 高 等 学 校

1 教育方針

《校訓》 「純剛(じゅんごう)」 「百折不撓(ひやくせつふとう)」

本校は、「純剛」(明るく爽やかで、意志強く、飾らないこと)と「百折不撓」(何度困難にあっても決してくじけないこと)の校訓のもと、「Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する」ことを目的に、「質の高い文武両道を保障する環境」の中で、吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP)を教育目標として掲げ、「自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力」を身につけるための教育に取り組みます。

《学校の特色》

(1) 授業・学校行事

- 前期・後期の2学期制と45分7校時授業で、授業時間を確保するとともに、きめ細かな学習指導により、生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばします。
- 対話的な授業やICT機器の効果的な利活用をとおして、生徒の主体的な学びを育てます。
- 普通科には習熟度が高いクラスを設置し高度な進路希望に対応するとともに、2年次からは多様な進路希望を実現するために文系・理系のコースを設置し、質の高いきめ細やかな学習指導を行います。
- 総合的な探究の時間「富士山学」の中で、課題解決に向けて教科横断的な学習を行い、探究的・主体的な態度と活用力・表現力を養い、同時に郷土を愛する心をも育てます。
- 土曜日にオープン・スタディ(学力向上講座と意欲向上講座)を実施し、進路実現をサポートします。
- 富士登山強歩大会をはじめ、吉高独自の伝統的行事が多くあります。
- ボランティア活動を一定条件で単位認定するとともに、日本ユネスコ協会から認定証も交付されます。

(2) 生徒会活動・部活動

- 生徒会本部や各委員会が中心となり、蒼風祭や体育祭など、多くの生徒会行事を活発に行っています。
- 放課後3時間(平日)の部活動の時間を確保するなど、学業と部活動の両立を実現できる環境を提供しています。
- 現在、約90%の生徒が部活動(体育局21部、文化局13部)に熱心に参加し、活躍しています。
また、山梨県高等学校強化指定運動部に指定されている部が多くあり、毎年、関東・全国大会に出場し、活躍しています。

(3) 学校生活

- 担当学年の教員が中心になって、生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。
- 養護教諭とスクール・カウンセラーが、学校生活の悩みや心配事の相談に応じています。
- すべての普通教室は雄大な富士山を仰ぎ見る配置となっており、同窓会館、自習室や学生ホールなどの最新設備の整った快適な学習環境の中で、充実した学校生活が送れます。
- 本校独自の「渡辺貢奨学会」があり、学校生活のサポートを受けることができます。

2 志願してほしい生徒像

- (1) 本校の教育方針や特色をよく理解し、将来の目標を持ち、その実現に必要な課題に積極的に取り組む強い意志を持っている生徒。
- (2) 周囲と協働できる豊かな人間性を備えている生徒。
- (3) グローバルな視野をもって主体的に行動し、リーダーシップを発揮できる生徒。

3 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率

普通科 20%以内

ハイスクールガイド

理数科 15%以内

(2) 出願の条件

普通科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、次の条件A、条件Bのいずれかに該当する生徒。

条件A 学習成績が優秀で、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒。

条件B 学習成績が優良で、体育活動あるいは文化活動において、県レベル以上の大会で優秀な成績を収めた生徒、または同等の能力を有している生徒のうち、高校入学後も引き続き諸活動に取り組もうとする強い意志をもつ生徒。なお、団体の場合は、中心となって活躍した生徒とする。

理数科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が極めて優秀で、理数教科にも関心を持ち、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒。

(3) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
人物、意欲、適性などをみて、受検する科の「出願の条件」に合致している生徒かどうかを確認する。	個別面接	10分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
特色適性検査	普通科 時間：60分 理数科 時間：70分
特 技	「活動実績申告書」・「活動に関する説明書」等による書類審査

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技	備考
条件A	40	15	5	40	—	前期募集人員の <u>45%</u> 程度
条件B	30	20	5	15	30	前期募集人員の <u>55%</u> 程度
理数科	30	15	5	50	—	

※調査書の「学習の記録」については、第1学年から第3学年までの成績評定を対象とする。

(6) 提出書類等

- ①提出書類 独自様式「活動実績申告書」
- ②添付書類 実績を証明できる資料（賞状・新聞記事・スコアブックなどのコピー、A4サイズ）
- ③書類の入手方法 本校ホームページからダウンロードできる（11月を予定）。

様式1

令和3年度 山梨県立吉田高等学校 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)	
学校目標・経営方針	Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことが出来る生徒を育成する

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める
	2 生徒の主体性を高める
	3 人とかかわりの中で生きていることを自覚させる
	4 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価						
	本年度の重点目標			年度末評価(2月14日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	生徒の知識活用能力を高める	※ ¹ 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等	・本校のスクールポリシー(吉高GP)に対しての保護者の理解度は達成率89%と高い評価を得ている。職員の90%もスクールポリシーを意識して生徒への指導を行っている。しかし生徒に関しては保護者・職員よりも低い達成率(80.5%)である。一方で90%以上の生徒はスクールポリシーの8つの力の伸長を感じ、意識せずとも8つの力の成長を感じていることが伺える。 ・授業に関して、生徒が主体的に参加できる授業を実施している教員の割合が90%を越えて、同様に90%の生徒も主体的に授業に参加しているが、「授業の楽しさ」を感じている割合69%と低く、「楽しさ」を感じさせる指導の工夫が必要であることを表している。 ・生徒評価に対する教員の達成度は98.0%と高い。一方で、生徒が学習を楽しんでいる割合は、全学年で69.3%である。教員の評価自体は正しく行われているが、生徒の授業への満足度は低く、評価の方法と授業への満足度(楽しさ)を結びつけるための改善が必要であることを示している。	A	成果 ・生徒の知識活用能力を高めるという点では昨年度比からは降下しているが全般的に高い水準の達成率である。授業が楽しいという部分の達成率は十分とは言えない。知識活用能力を伸ばすよう、学びに対しては主体的、能動的であった。 課題・改善策 ・生徒が主体的だと感じる授業改善を今後も継続して行っていくために、カリキュラムマネジメント委員会を通じ、教科横断的な視点から情報の共有を図り、授業の楽しさにつなげる対策を図っていく。 ・対面する機会が減っていく状況下で生徒たちに吉高GPへの意識付けを維持していく方法を考え、実践していく。 ・令和4年度入学生より観点別評価導入に伴い、全学年を対象として、生徒の良さを評価する評価を引き続き適切に行っていくたい。また、学習内容の難易度にかかわらず、教科の魅力を伝えながら、学習に対する関心を高め、達成感や結果の向上を生徒自らが感じられることによって自己効用感、自己肯定感の高揚につなげていく。 ・生徒たちの学習に関する疑問点を自ら解消しようとする姿勢といった学びへの主体性を生徒に対して明確に評価する方法を考え、実践することで授業の楽しさにつなげる。 ・リモート授業はこれからも続くと思予想できることから、個々の通信環境の格差を考慮しながら、授業改善を各教科を中心に考えていかなければいけない。また、対面・リモートそれぞれのメリットを考えて、適した授業を展開していく必要がある。対面に限らず、授業進度と連動した課題の内容の提示や生徒自身が考える時間を与える工夫も行い、自立した学習者の育成を実践していく。
		評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等			
		授業と連動した課題を設定し、知識の活用定着を図る。	外部アンケート等			
2	生徒の主体性を高める	常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等	*1学年 教科の授業や総合的な探究の時間を通じて、生徒が主体的に学ぶ機会は十分に設定され、生徒の項目の達成率は86.8%と高い。しかし、創造力・発信力の部分については顕著に形として表れておらず、1年間の探究活動の成果物に関しては全体的に物足りなさを感じているものであった。生徒は部活動との両立に関しては全校で最も高い83.9%の達成率であった。	A	成果 学習と部活動の両立という点では、行動制限がかかる中で、学年を追うにしたがって達成率は低くなっているが、自分に対する課題への取組や自己の言動への責任感という点では高い達成率を維持している。概ね、生徒の主体性を高めることができています。 *1学年 課題・改善策 教科・総合・LHR・学校行事・部活動に対するカリキュラムマネジメントを一層推し進め、生徒一人一人の主体的な活動に対して、教員が関わり支援する体制の構築が必要である。特に「分析し、思考し、創造し、発信する」「傾聴し、想像を共有し、行動する」という部分を伸長できる指導を行い、形としてoutputできることを重視していく。 *2学年 課題・改善策 ・部活動を始めとする諸活動において、何かアクションを起こそうとするとその矢先に、感染症拡大による活動制限がかかり、もどかしい思いをしている生徒が大半だと思う。高校生活最後の1年を迎えるにあたり、環境やその時の状況を悔やんだり憂いたりするのではなく、「その中で出来る最高を目指す」修正力、打たれ強い心を養う指導行う。 ・そのために、一番大切なことは、評価の数値にとらわれすぎではなく、思ったことや感じたことを、我々職員がその都度躊躇せずに、職員が自分の言葉で訴えていく。 *全体 課題・改善策 問題番号5の達成率の向上を図る意識付けと実践に向けて指導法を構築し、実践する。
		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等	*2学年 年度当初より、進路研究の一環として「外」へ視点を向ける指導をしている。勉強と部活動の両立に加え、資格試験、各種コンテスト・発表会、インターンシップ(体験活動)、大学のオープンキャンパス、ボランティア活動等に積極的に参加し、活躍の場を学校の外へと広げる呼びかけを随時行ってきた。また、修学旅行を実施するにあたり、相手の立場になり、その場その場で【相応しい行動】とはどのようなものかを常に問いかけ、想像力の涵養に注力した。その結果、達成率79.6%と結果となり十分に生徒は主体性を高めることができたとして自己評価を行っている。		
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等	*3学年 主体性を高めるための取り組みとしては各行事では最高学年としての自覚を持って取り組むことを意識させ、1、2年時に経験したことをさらに進化させるよう求めた。その結果、コロナ禍の中において学園祭などの生徒会行事、部活動の実施方法など難しい局面においても主体的に取組み、成功させることができたことが77.8%という数値に表れている。		

山梨県立吉田高等学校 校長 古 屋 勇 人

学校関係者評価	
実施日 (令和4年2月19日)	
評価	意見・要望等
4	・吉高GPは浸透している。自己肯定感も育成されており、コロナ禍の下、一番大切な力の向上が見られている。 ・リモートは、通常の授業に比べ、双方に苦労がある。(教える側、学ぶ側、学校環境、家庭環境)そのような環境の中で、学ぶ姿勢の数値が良くあがっているのは立派である。 ・授業が面白くないということについて、企業でもデジタルスキルはあるが、じっくり考えることが苦手で仕事が面白くないと感じる若者が増えている。それでも、一生懸命やっている若者が多い。 ・オンラインの活用について、内容は伝わるが、雰囲気伝わりにくいというデメリットもある。 ・授業が楽しいと思う生徒の数値が低いことについて、リモート授業が多い中でこれだけの数値が出ていることに、教師の取り組みを評価したい。生徒が学ぶことが楽しいと思えるようになって欲しいという目的を持って授業づくりをすることを心がけてほしい。 ・「授業が楽しい」という項目の達成率は低い、「主体的には学べている」という項目の達成率は高いので、教師が仕組みを工夫していることが見受けられる。 ・「授業が楽しい」については、授業内容と共に「学ぶことの楽しさ」を体得させる授業改善に期待する。 ・教師が授業を楽しむこと、楽しい授業を組み立てる意識も大切。「I」「YOU」「WE」の視点を授業に組み込む中で、生徒の自己肯定感を育てたい。 ・具体的方策の自己肯定感、自己高揚感、自己有用感について、同じ表記で統合した方が、分かりやすいのではないかな。 ・自己有用感、自己肯定感、自己効用感の3つの似た意味の言葉が使われている。意味を確実に理解した上で、目的に合った言葉を使って、評価を行うべきである。 ・「自己効用感」「自己肯定感」に関して、自己受容に関わる「自己肯定感」により焦点を当てた取組みが必要でないかと考える。これはレジリエンスにつながる部分であり大切であると捉える。
	・地域をリードする高校として、意欲を持って部活動との両立を実現している背景に、主体的で自治的な活動が見受けられる。 ・両立(マルチタスク)が出来る人、出来ない人が分かれるので、全員に求めるのではなく個別対応で集中できることに取り組ませることが必要だと考える。 ・研究課題の設定を考える時間が少なく、難しいのでアプローチの仕方を工夫すると良い。小中学校で研究課題を持っている生徒は継続させてもよい。 ・自ら考える力が今後も育む場が大切であると考ええる。 ・若者は数字がないと納得しない面もありますが、これを言語でロジカルに説明できると説得力が高いと感じています。 ・中高連携の視点から探究活動のテーマ設定など中学校での学びを活かす取り組みが求められる。

自 己 評 価			
	本年度の重点目標		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
3	人とのかかわりの中で生きていることを自覚させる	周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等
		社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等
		ユネスコスクールへの加盟申請を契機とし、SDGsを意識させるとともに、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等
4	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	生徒と触れ合う機会を増やすためにも、業務全体を見直し、分業と協業を推進する。	外部アンケート等

※1）吉田高校グラデュエーション・ポリシー（吉高GP）・・・本校3年間を通して8つの力（自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力）を身につけること。

留意点（1）重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

（2）学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者評価	
実施日（令和4年2月19日）	
評価	意見・要望等
3	・かえる舎や商工会議所との連携によって、より一層進展していくことを期待している。地域をリードする高校ゆえに他校との交流が難しい側面がある。他校と比べ、地元に残る可能性が少ない生徒が多いという背景の中で、良く取り組んでいることは大変素晴らしい。日本の都市部以外の多くの地域が抱えている課題に対して、良く取り組んでいる。 ・SDGsについて取り組んでいかないと、企業として成立しない時代であるので、学生の中から意識させることはよいことだと思う。 ・生徒の課題研究の取り組み、学びについて、環境に関わる仕事をする立場から、感謝したい。 ・社会も経済も美しい環境があって成り立つということを考えると、環境を守るということは社会や経済の基盤になるということを学生時代から気づいてもらいたい。 ・コロナ禍で、発表の場に参加できなかったが、新しい視点を発見していく場として生徒の研究発表を今後も共有していただきたい。 ・地域との関わりについての調査において、「興味」、「意識」という言葉が使われているが、受け取り方には個人差があるので、基準を明示すると、対象者は回答しやすいと思う。意識が高い生徒ほど、評価が厳しくなるはずである。 ・人との関わりについては、コロナ禍以前と比べることができないのではないと思う。新しい基準で判断すべきである。 ・地域のことを意識させるには、核家族化が進み、地域行事の継続が難しい環境にある。地域への関心が停滞しているのは大人社会にも課題があるのではないと思う。 ・地元の商工会議所やその他の団体とも生徒と一緒に活動できる体制を作り、生徒が地域とのつながりを感じることができるように取り組んでいきたい。 ・総合的な探究の授業のテーマ設定の充実を願う。 ・生徒に「シビックプライド」を教えることは大人の責任である。吉田高校は地域に対する市民としての誇りを高める努力をすべきである。 ・織物など地域の地場産業に対して、更に目を向けさせる工夫を求める。
	・コロナを通して、従前のものを見直す機会として先生方一人ひとりが新しい視点を生み出してほしい。 ・ワークライフバランスについて企業でも残業が厳しくなっている。時間ができるという良い面もあるが、必要な仕事がやりきれないことが逆にストレスになることもある。不要なことは削っていくことが必要になってきている。 ・細かい資料作りも教員のオーバーワークに繋がっているのではないと思う。資料の簡略化や委員と一緒に取り組むことで、分かりやすさにつながるのではないと思う。それが、ライフワークバランスに繋がるのではnないだろうか。先生方を守る上でもコンパクトにできる部分はスリム化した方が良い。 ・コロナ禍で事務が偏らざるを得ない中、難しい状況であるが、リモートの活用を含めて、業務改善に取り組んでほしい。

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める	達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4	良くできている。
	2 生徒の主体性を高める		B	概ね達成できた。(6割以上)		3	できている。
	3 人とかかわりの中で生きていることを自覚させる		C	不十分である。(4割以上)		2	あまりできていない。
	4 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る		D	達成できなかった。(4割以下)		1	できていない。

自 己 評 価							学校関係者評価		
本年度の重点目標				年度末評価(〇月〇日現在)			実施日 (令和〇年〇月〇日)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	分析と成果・課題	達成度	課題解決に向けた具体策	評価	意見・要望等	
1	生徒の知識活用能力を高める	※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等						
		(旧)評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等						
		(新)評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等						
2	生徒の主体性を高める	授業と連動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。	外部アンケート等						
		常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等						
		(旧)身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等						
3	人とかかわりの中で生きていることを自覚させる	(新)身の回りに存在する自己の課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等						
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等						
		(新)日常生活、行事を通じて、自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う指導を行う。	外部アンケート等						
4	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	(旧)周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等						
		(新)学校内外との関わりの中で、自己肯定感を養う指導を行う。	外部アンケート等						
		(旧)社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等						
5	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	(新)社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う指導を行う。	外部アンケート等						
		(旧)ユネスコスクールへの加盟申請を契機とし、SDGsを意識させるとともに、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等						
		(新)ユネスコスクールの加盟認可を目指し、SDGsの実現のために知識と実現のための行動力を身に付ける指導を行う。	外部アンケート等						
6	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	(旧)生徒と触れ合う機会を増やすためにも、業務全体を見直し、分業と協業を推進する。	外部アンケート等						
		(新)生徒、自分の家族と触れ合う機会を増やすために、業務内容全体の再構築や業務の分業と協業を推進する。	外部アンケート等						

※1) 吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP) …… 本校3年間を通して8つの力(自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力)を身につけること。

令和4年度学校評価・教職員評価の年間スケジュール(案)

R4.4.5 教頭

日程（暫定）	学校評価の活動	教職員評価の活動	備 考
4／1（金）	職員会議 令和4年度本校教育目標等の提示		
4／5（火）	職員会議 年間スケジュールの提示 学校評価アンケート質問項目の提示 及び検討	職員会議 年間スケジュールの提示 及び「自己観察書」の記入について説明	4/28 締切
5／6（金） ～ 5／25（水）		「自己観察書」に基づき管理職と面談 記載事項に変更が必要な場合、「自己観察書」を再提出	
5／18（水）	第1回学校評価委員会 学校評価アンケート質問項目の確認		
5／25（水）	職員会議	第1回相互授業参観について説明	
6／6（月） ～ 6／24（金）		第1回相互授業参観、LHR観察、部活動観察、それらの指導助言を「自己観察書」に随時記入	
6／15（水）	第2回学校評価委員会 学校評価アンケート質問項目の決定	教職員の自己評価 必要に応じて管理職との面談、中間評価を行う。（自己目標の変更があれば、新たに提出）	
7 月 上 旬	学校評価アンケートの実施 （第1回生徒・教職員対象）		
9／9（金）	第3回学校評価委員会 第1回学校評価のまとめと第2回学校評価アンケートの検討		
9／22（木）	職員会議	第2回相互授業参観について説明 「評価書の提出」（能力・意欲の自己評価）	10/5 締切
10／3（月） ～ 10／28（金）		第2回相互授業参観、LHR観察、部活動観察、それらの指導助言を「自己観察書」に随時記入	
11月上旬	学校評価アンケートの実施 （第1回保護者対象）		
11月下旬	学校評価アンケートの実施 （第2回3学年生徒対象）		
11／9（水）	職員会議	「自己観察書」「評価書（業績自己評価）」の提出（12/23 まで）についての説明	12/23 締切
12／7（水） ～ 1／27（金）		提出された「自己観察書」や「評価書」をもとに 必要に応じて管理職との面談	
1月中旬	学校評価アンケートの実施 （第2回1・2学年生徒、教職員対象）		
1／30（月）	第4回学校評価委員会 第2回学校評価のまとめ		
2／1（水） ～ 3／3（金）		管理職と評価後の面接を行う	
3／9（木）	第5回学校評価委員会 年度末評価の検討・次年度計画策定		

令和4年度（2022）年間行事予定										【4月職員会議】（案）										2023/3/25 22:45									
日		曜		4月							休		日		曜		5月							休					
1	金	年度始め休業（～4/6）〔査・職・学・教科・係〕							×	1	日																		
2	土								×	2	月								○										
3	日								×	3	火	【憲法記念日】理数科登校学習会																	
4	月	新任職員オリエンテーション							×	4	水	【みどりの日】理数科登校学習会																	
5	火	〔職・係・学〕							×	5	木	【こどもの日】理数科登校学習会																	
6	水								×	6	金								○										
7	木	新任式・始業式 LHR・大掃除・入学式式場設営 生徒会自治集会・部長会議							○	7	土																		
8	金	入学式 第1学年PTA保護者会							○	8	日																		
9	土									9	月	（総体前 40分×7h 授業）							○										
10	日									10	火	（総体前 40分×7h 授業） 総体テント設営（校長会）							○										
11	月	AM 対面式・納め式 LHR・高校生活ガイダンス(1) PM 個人写真撮影 LHR 理数科集会							○	11	水	高校総体	学年別課題授業(AM)					△											
12	火	実力テスト 生徒評議会 LHR 進路希望調査(2・3) 理数科生活検討会①(3)（校長会）							○	12	木	高校総体	学年別課題授業(AM)					△											
13	水	AM 身体計測 防災避難訓練① 総合学習ガイダンス(1)6h LHR PM 授業開始(1・2) 総合学習オリエンテーション(2)6～7h 実力テスト(3)(理社) 校歌応援歌練習ガイダンス 理数科生活検討会①(2)							○	13	金	高校総体	特別時間割(AM)					△											
14	木	平常授業開始 校歌応援歌練習1日目 理数科8校時開始(2・3)							○	14	土	駿台模試(3)																	
15	金	結核検診(1) PTA各学年委員会・第1回PTA理事会 校歌応援歌練習2日目							○	15	日																		
16	土	OS①(2・3)								16	月	〔学〕〈教頭会〉							○										
17	日									17	火	自転車安全点検 尿検査二次							○										
18	月	校歌応援歌練習3日目 部活動見学 小論文委員会（教頭会）							○	18	水	進路学習会(3) 富士山学 地域講演会(1・2) 5～7h マナーアップ運動① PTA第2回理事会〔運・評①〕					○												
19	火	①②③④⑤⑥の授業 交通安全講話(1・2・3)7h 第1回委員会集会							○	19	木	耳鼻科検診(1)〔カ〕					○												
20	水	心電図検診(1) 理数科8校時開始(1) 第2回生徒評議会〔運〕							○	20	金	②③④⑤⑥⑦の授業 総体納め式・壮行会7h 推薦委員会①					○												
21	木	歯科検診(3)							○	21	土	OS② 全統模試(1・2・3) 同窓会総会																	
22	金	球技大会（雨天時は金曜日の授業） 進路希望調査(1)〔学〕							○	22	日																		
23	土	全統共通テスト模試(3)								23	月	前期第1回試験時間割発表					○												
24	日									24	火	理数科推進委員会①					○												
25	月	★金曜日の授業/球技大会予備日(雨天中止時は月曜日の授業) 部登録							○	25	水	内科検診(2) スマホ・ケータイ教室(1)7h〔職〕					○												
26	火	尿検査一次 理数科生活検討会①(1)							○	26	木						○												
27	水	前期生徒総会・総体壮行会 5～7h〔職〕							○	27	金	第1回英検1次（A日程：校外会場での実施）					○												
28	木	歯科検診(1)〔掃〕〔カ〕							○	28	土	OS③（試験前）																	
29	金	【昭和の日】PTA総会 保護者対象進路説明会								29	日																		
30	土									30	月	前期第1回試験					△												
										31	火	前期第1回試験					△												
備考	授業 実施 数		1	2	3	4	5	6	7	自転車登録 学校運営協議会？ 理数科課題研究打ち合わせ 期間(2) 蒼風祭実行委員会	○16 △0 ×6 休8	備考		1	2	3	4	5	6	7	夏服更衣 理数科課題研究打ち合わせ 期間(2)	○14 △5 ×0 休12							
		月	1	1	1	1	1	1	1				月	4	4	4	4	4	4	4									
		火	2	2	2	2	2	2	1				火	3	3	3	3	3	3	3									
		水	3	3	3	3	1	1	1				水	2	2	2	2	1	2	2									
		木	3	3	3	3	3	3	3				木	2	2	2	2	2	2	2									
		金	3	3	3	3	3	3	3				金	2	3	3	3	3	3	3									
〔職〕職員会議		〔学〕学年会議		〔入〕入力完了		OS：オープスタディ		〔看〕看護模試																					
〔査〕査定会議		〔旅〕旅行委員会		〔票〕個票提出		〔河〕全統模試		〔公〕公務員模試																					
〔運〕運営委員会		〔掃〕掃除		〔表〕一覧表提出		〔進〕進研模試		〔就〕就職模試																					
〔評〕学校評価委員会		〔係〕各係会議				〔駿〕駿台模試		〔論〕小論文模試																					
〔カ〕カリキュラムマネジメント委員会						〔代〕代ゼミ模試		〔学研〕学研模試																					

日	曜	6月	休	日	曜	7月	休						
1	水	前期第1回試験	△	1	金	蒼風祭	○						
2	木	前期第1回試験 特活クレジット・小論文説明会(3)	△	2	土	蒼風祭	○						
3	金	AM④⑤⑥⑦授業 PM芸術鑑賞会(オペラ) 追試験	○	3	日	第1回英検2次(A日程:校外会場での実施)							
4	土	進研共通テスト模試・就公模試(3) 駿台模試(1・2)		4	月	7/2の代休 (校長会)							
5	日	第1回英検1次(B日程:校外会場での実施)		5	火	薬物乱用防止教室1h ②③④⑤⑥⑦の授業	○						
6	月	相互授業参観(～6/24)	○	6	水	野球応援練習 [運・票]	○						
7	火	(校長会)	○	7	木	理数科生活検討会②(2)	○						
8	水	内科検診(1)	○	8	金	漢字検定① [学]	○						
9	木	歯科検診(2)	○	9	土	進研模試(1・2) 進研記述模試(3)(OS④)							
10	金		○	10	日	第1回英検2次(B日程) *準1級は7/17(C日程)(校外会場での実施)							
11	土			11	月		○						
12	日			12	火	①④⑤⑥授業 PM 三者懇談 第1回フードドライブ(～7/21) 理数科生活検討会②(1)	△						
13	月	教育実習(～7/1) [票][入]	○	13	水	理数科校外研修①(1)5～7h [職]	○						
14	火	(教頭会)	○	14	木	①⑤⑥⑦授業 PM 三者懇談	△						
15	水	プロジェクト223(1年5～6h, 2年6～7h) マナーアップ運動② PTA第3回理事会 [運]	○	15	金	①②③⑦授業 PM 三者懇談	△						
16	木	[表]	○	16	土	理数科課外(2) 大学別模試(3)							
17	金	蒼風祭ブロック集会 [学]	○	17	日	理数科課外(2) 大学別模試(3)							
18	土			18	月	海の日 大学別模試(3)							
19	日			19	火	①②③⑦授業 PM 三者懇談 生徒会役員選挙公示	△						
20	月		○	20	水	①②③④授業 PM 三者懇談 ビブリオバトル(放)	△						
21	火	理数科生活検討学習会②(3)	○	21	木	②③④⑤授業 PM 三者懇談	△						
22	水	内科検診(3) [査3・職]	○	22	金	AM 休業前集会・合同LHR・LHR・大掃除	△						
23	木	調査書作成委員会	○	23	土	理数科夏期課外(2) 大学別模試(3)	×						
24	金	全国大会・野球壮行会 7h [力]	○	24	日	代ゼミ共通テスト講座(3) 理数科夏期課外(2)	×						
25	土			25	月	夏季休業(～8/19)・夏期課外(3)・教養講座(小論文)(3) 理数科課外(1・3)(～7/29) 理数科課題研究(2)(～8/5)	×						
26	日			26	火	夏期課外(3) 理数科課外(1・3)	×						
27	月		○	27	水	夏期課外(3) 理数科課外(1・3)	×						
28	火		○	28	木	夏期課外(3) 理数科課外(1・3)	×						
29	水		○	29	金	夏期課外(3) 理数科課外(1・3)	×						
30	木	蒼風祭準備日, 前夜祭	○	30	土	全統共通テスト模試(3) 理数科夏期課外(2) 大学別模試(3)	×						
				31	日	第26回全国総文祭東京大会(～8/4) 理数科夏期課外(2) ↓	×						
備考	授業 実施 数		1 2 3 4 5 6 7	マナーアップ運動②	○	20		授業 実施 数		1 2 3 4 5 6 7	諸届け受付	○	8
		月	4 4 4 4 4 4 4	図書館利用ガイダンス(1)	△	2	月		1 1 1 1 1 1 1	各祭典巡回	△	7	
		火	4 4 4 4 4 4 4	尿検査(三次)	×	0	火		2 2 2 2 2 2 2	理数科企業見学	×	9	
		水	4 4 4 4 4 4 4		休	8	水		3 3 3 3 2 2 2	探究実践	休	7	
		木	3 3 3 3 3 3 3				木		2 2 2 2 3 2 2				
	金	3 3 3 3 4 4 3				金	2 2 2 2 1 1 1 2						
[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 OS:オープンスターディ [看]看護模試													
[査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試													
[運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試													
[評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試													
[力]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試													

日 曜	8 月							休	日 曜	9 月							休							
1 月	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・3)							×	1 木								○							
2 火	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・3) (校長会)							×	2 金	共通テストガイダンス (3) 7h							○							
3 水	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・3)							×	3 土	進駿共通テスト模試 (3) 理数科課題研究発表会 (1・2)														
4 木	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (3)							×	4 日															
5 金	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (3) 教育課程研究集会							×	5 月	①②③④⑤の授業 生徒会役員選挙・立会演説会投票票6h 富士登山強歩大会ガイダンス7h							○							
6 土	理数科宿泊学習会 (～8/10)							×	6 火	富士登山強歩大会 (雨天時は火曜日の授業) (校長会)							○							
7 日								×	7 水	富士登山強歩大会予備日 (予備日も雨天の場合は水曜日の授業)							○							
8 月	学習優先期間 (～8/21) 夏期課外 (3)							×	8 木	前期第 2 回試験時間割発表 推薦委員会②							○							
9 火	夏期学習会 (1・2) 夏期課外 (3)							×	9 金	[運]							○							
10 水	夏期学習会 (1・2) 夏期課外 (3) ↓							×	10 土	○ S ⑥ (試験前)														
11 木	【山の日】 夏期課外 (3) 大学別模試 (3)							×	11 日															
12 金	夏期課外 (3) 大学別模試 (3)							×	12 月	[学]							○							
13 土	閉庁							×	13 火								○							
14 日	閉庁							×	14 水								○							
15 月	閉庁							×	15 木	前期第 2 回試験							○							
16 火	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・2・3)							×	16 金	前期第 2 回試験							○							
17 水	夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・2・3) [運]							×	17 土															
18 木	夏期学習会 (1・2) 夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・2・3)							×	18 日															
19 金	夏期学習会 (1・2) 夏期課外 (3) 理数科夏期課外 (1・2・3)							×	19 月	【敬老の日】														
20 土	大学別模試 (3)							×	20 火	前期第 2 回試験							○							
21 日	オープンキャンパス							×	21 水	前期第 2 回試験 小論文模試 (3) マナーアップ運動③							○							
22 月	AM 納め式 合同LHR・LHR等 PM 心肺蘇生法講座・就職推委・特活クレジット認定委 [学]							△	22 木	追試験 [職]							○							
23 火	実力テスト (1・2年スタサポ) 授業 (3年) (教頭会)							○	23 金	【秋分の日】														
24 水	年金労働法講座 (3) 6～7h [職]							○	24 土	駿台模試 (3)														
25 木								○	25 日															
26 金	生徒会役員選挙告示 PTA第4回理事会							○	26 月								○							
27 土	○ S ⑤ 全統模試 (1・2・3) 大学別模試 (3)								27 火								○							
28 日	大学別模試 (3)								28 水	楽問楽学 (1) 5～7h [カ]							○							
29 月								○	29 木								○							
30 火								○	30 金	①②③④授業 進路希望調査 (～10/5) ワックスがけ PM 前期末集会・納め式・生徒会役員認証式・LHR [掃]							○							
31 水	富士山学 中間報告発表会 (1) 6～7h 強歩大会事前健康相談							○		9/30 第2回英検1次 (A日程 : 校外会場での実施)														
備 考	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	各種祭典巡回 探究実践	○ 7 △ 1 × 21 休 2	備 考	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	冬服更衣 共通テストゼミ (希望者) 安全点検 下吉田中 出前授業 (21or28)	○ 20 △ 0 × 0 休 10	
		月	2	2	2	2	2	2	2					月	3	3	3	3	3	2	2			
		火	1	1	1	1	1	1	1					火	2	2	2	2	2	2	2			
		水	2	2	2	2	2	2	2					水	3	3	3	3	3	3	3			
		木	1	1	1	1	1	1	1					木	4	4	4	4	4	4	4			
金	1	1	1	1	1	1	1	金	3	3	3	3	2	2	2									
[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 OS:オープンスターディ [看]看護模試 [査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試 [運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試 [評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試 [カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試																								

日 曜		1 0 月								日 曜		1 1 月												
1	土	進駿記述模試(3) 駿台模試(1・2)								1	火	私大検討週間(～12/1) 〈校長会〉							○					
2	日									2	水	[運]							○					
3	月	履修科目予備登録(1・2) [票・入]							○	3	木	【文化の日】 大学別模試(3)												
4	火	[教頭会]							○	4	金	推薦委員会④ 漢字検定②							○					
5	水	面接ガイダンス(3)6～7h 進路学習会(1)5～7h [運]							○	5	土	大学別模試(3)												
6	木	体育祭(雨天順延時は木曜日の授業) [表]							○	6	日	第2回英検2次(A日程:校外会場での実施) 大学別模試(3)												
7	金	体育祭予備日 [学]							○	7	月	後期第1回試験時間割発表(3) [学]							○					
8	土	理数科セミナー 共通テストゼミ(希望者) 大学別模試(3)								8	火								○					
9	日	第2回英検1次(B日程:校外会場での実施) 大学別模試(3)								9	水	[職]							○					
10	月	スポーツの日 大学別模試(3)								10	木	山梨県総文祭グランドステージ							○					
11	火								○	11	金								○					
12	水	富士山学 校外学習(2)5～7h PTA第5回理事会 [査・職]							○	12	土													
13	木	推薦委員会③							○	13	日	第2回英検2次(B日程) *準1級は11/23(C日程)(校外会場での実施)												
14	金	後期委員会集会							○	14	月	修学旅行(2) 後期第1回試験(3)							○					
15	土	全統記述(3)								15	火	修学旅行(2) 後期第1回試験(3)							○					
16	日									16	水	修学旅行(2) 後期第1回試験(3) マナーアップ運動④ 校外学習(1)5～7h 理数科校外研修②(1) PTA第6回理事会							○					
17	月	★水曜日の授業 吉高学(1)5～6h							○	17	木	修学旅行(2) 後期第1回試験(3)							○					
18	火								○	18	金	追試							○					
19	水	消費者教育(1)6～7h							○	19	土	大学別模試(3)												
20	木	【創立記念日】 大学別模試(3)								20	日	【県民の日】 大学別模試(3)												
21	金	★木曜日の授業							○	21	月								○					
22	土	大学別模試(3)								22	火	後期第1回試験時間割発表(1・2) 進路学習会(2)6～7h [カ]							○					
23	日	大学別模試(3)								23	水	【勤労感謝の日】 全統ブレ共通テスト(3)												
24	月	図書館フェスティバル(放)～10/28							○	24	木	全統模試データリリース(3)							○					
25	火	授業公開・保護者進路説明会(1)							○	25	金	[票・入3]							○					
26	水	出願が'イ'ons(3)(6h文7h理) 富士山学中間発表会(2)6h [カ]							○	26	土	OS⑨(1・2)(試験前) メカパイロット												
27	木	授業公開・保護者進路説明会(2)							○	27	日	代ゼミ共通テスト対策講座(3)												
28	金	後期生徒総会							○	28	月	[運]							○					
29	土	進研模試(1・2)(OS⑧) 進駿共通テスト模試(3)								29	火	後期第1回試験(1・2)							○					
30	日	進研模試(2)								30	水	後期第1回試験(1・2) [表3]							○					
31	月								○															
備 考	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	学校運営協議会 共通テストゼミ(希望者) 献血(3年 希望者)	○ 19 △ 0 × 0 休 12	備 考	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	防災避難訓練 普通自動車免許取得説明会① マナーアップ運動④ 共通テストゼミ(希望者) 中学校教員対象入試説明会(上旬)	○ 20 △ 0 × 0 休 10	
		月	3	3	3	3	3	3	3					月	3	3	3	3	3	3	3			
		火	4	4	4	4	4	4	4					火	3	3	3	3	3	3	3			
		水	5	5	5	5	5	5	5					水	2	2	2	2	2	2	2			
		木	3	3	3	3	3	3	3					木	2	2	2	2	2	2	2			
	金	3	3	3	3	3	3	3	金	4	4	4	4	4	4	4								
[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 OS:オープスタディ [看]看護模試 [査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試 進路学習会(2)(6～7h) [運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試 [評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試 [カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試																								

1 2 月										1 月														
1	木	後期第 1 回試験(1・2) 〈校長会〉								○	1	日	【元旦】 学校閉鎖								×			
2	金	後期第 1 回試験(1・2) [学 3]								○	2	月	学校閉鎖								×			
3	土	共通テストシミュ①(3)									3	火	学校閉鎖								×			
4	日	共通テストシミュ①(3)									4	水	冬期学習会(1・2) 共通テストゼミ(3) 理数科冬期課外(1・2)								×			
5	月	追試験 履修科目登録(1・2)								○	5	木	冬期学習会(1・2) 共通テストシミュ②(3 理数科冬期課外(1・2)								×			
6	火	私大検討会 〈教頭会〉								○	6	金									○			
7	水	私大検討会 18歳成人講座(2) 6～7h								○	7	土												
8	木	[査 3 職]								○	8	日												
9	金	理数科生活検討会③(3)								○	9	月	成人の日											
10	土	OS⑩(1・2)									10	火									○			
11	日										11	水	共通テスト激励会(3) 7h [運・評④]								○			
12	月	第2回フードドライブ(～12/16) [票・入12]								○	12	木									○			
13	火	クリスマスツリー点灯式								○	13	金	第3回英検1次 (A日程：校外会場での実施) [学]								○			
14	水	理数科生活検討会③(2)								○	14	土	大学入学共通テスト 進研模試(1・2) (OS⑪)											
15	木	福祉講話(1・2) 7h [表1・2]								○	15	日	大学入学共通テスト 進研模試(2)											
16	金	[学]								○	16	月	共通テスト自己採点(3) 1～4h								○			
17	土										17	火	理数科推進委員会②								○			
18	日										18	水	富士山学分野別発表会(1・2) 6～7h マナーアップ運動⑤ PTA第7回理事会 [職]								○			
19	月	理数科生活検討会③(1)								○	19	木	前期募集検査一括受付								○			
20	火									○	20	金	最後の小論文(3) 5～7h								○			
21	水									○	21	土												
22	木									○	22	日	第3回英検1次 (B日程：校外会場での実施)											
23	金	AM 大掃除・休業前集会・納め式・合同LHR・LHR								△	23	月	出願書類点検								○			
24	土	共通テストゼミ(3)								×	24	火	[職・前期入試]								○			
25	日	共通テストゼミ(3)								×	25	水	国公立大検討会(3)								○			
26	月	共通テストゼミ(3) 理数科冬期課外(1・2)								×	26	木	国公立大検討会(3)								○			
27	火	共通テストゼミ(3)								×	27	金	[カ]								○			
28	水	冬季休業(～1/6) 仕事納め 共通テストゼミ(3)								×	28	土	プロシード(2)											
29	木	学校閉鎖								×	29	日												
30	金	学校閉鎖								×	30	月	[運]								○			
31	土	学校閉鎖								×	31	火	①②③の授業 前期募集検査会場設営4h [票・入3]								△			
備 考	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	諸届け受付	○	16	授 業 実 施 数		1	2	3	4	5	6	7	普通自動車免許取得説明会	○	16
		月	3	3	3	3	3	3	3	3	△	1		月	3	3	3	3	3	3	3	②	△	1
		火	3	3	3	3	3	3	3	3	×	8		火	4	4	4	3	3	3	3	マナーアップ運動⑤	×	5
		水	3	3	3	3	3	3	3	3				水	3	3	3	3	3	3	3			
		木	3	3	3	3	3	3	3	3	休	6		木	3	3	3	3	3	3	3			休
	金	3	3	3	3	3	3	3	3			金	4	4	4	4	4	4	4	4				
[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 OS:オープンスターディ [看]看護模試																								
[査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試																								
[運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試																								
[評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試																								
[カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試																								

日 曜				2 月			日 曜				3 月											
1	水	前期募集検査					×	1	水	卒業証書授与式					△							
2	木	前期募集検査					×	2	木	①②③の授業 後期募集検査会場設営4h					△							
3	金						[表]	○	3	金	後期募集検査					×						
4	土	進研共通テスト模試(2 希望者) 駿台模試(1)						4	土	理数科春期課外(1・2)												
5	日							5	日	理数科春期課外(1・2)												
6	月						[学3] 〈校長会〉	○	6	月	後期募集検査探点					×						
7	火						[選・職・査3職]	○	7	火	AM答案返却 PM授業 個人写真撮影(1・2) 後期募集検査追検査(総合教育センター)					○						
8	水	富士山学 全体発表会(2)6～7h 第3学年部会・PTA第8回理事会					○	8	水	球技大会					[選職]	○						
9	木	前期募集内定						○	9	木	球技大会					[運・評⑤]	○					
10	金	漢字検定③						○	10	金	入学許可予定者発表					[票・入12]	○					
11	土	〔建国記念の日〕						11	土	○S⑬(1・2)(卒業生の話を聞く) 理数科春期課外(1・2)												
12	日							12	日	代ゼミ共通テスト対策講座(2) 理数科春期課外(1・2)												
13	月	後期第2回試験時間割発表(1・2)					[教頭会]	○	13	月						○						
14	火							○	14	火						○						
15	水							○	15	水	再募集検査					[表]	○					
16	木						[職・後期入試]	○	16	木						○						
17	金	後期募集検査一括受付						○	17	金	再募集入学予定者発表					[学]	○					
18	土	○S⑫(1・2)(試験前)						18	土	理数科春期課外(1・2)												
19	日	第3回英検2次(A日程:校外会場での実施)						19	日	理数科春期課外(1・2)												
20	月	後期2回試験(1・2)						△	20	月						[査12職]	○					
21	火	後期2回試験(1・2)						△	21	火	〔春分の日〕 理数科春期課外(1・2)											
22	水	後期2回試験(1・2)						△	22	水	新入生オリエンテーション					○						
23	木	〔天皇誕生日〕						23	木	①②③④⑤授業、納め式・大掃除					○							
24	金	後期2回試験(1・2)						△	24	金	AM 終業式・離任式・LHR PM 追認試験					△						
25	土	理数科春期課外(1・2)						25	土	新入生体育着等販売					×							
26	日	第3回英検2次(B日程) *準1級は3/5(C日程)(校外会場での実施)						26	日	理数科宿泊学習会(～3/29)					×							
27	月	追試験 式場設営					[掃]	○	27	月	学年末休業(～3/31)					×						
28	火	卒業式予行・同窓会入会式・納め式・表彰式						△	28	火						×						
									29	水	新主任会議					×						
									30	木						×						
									31	金	諸帳簿提出					×						
備考	授業 実施 数		1	2	3	4	5	6	7	学校運営協議会 安全点検 教育ボランティア(20、21) 総研 献血(2年男子 希望者)	○	12	中高生指連絡協議会 公民権教育(2) 校長会?	○	12							
		月	3	3	3	3	3	3	3		△	5		月	2	2	2	2	2	2	△	3
		火	2	2	2	2	2	2	2		×	2		火	1	1	1	1	2	2	×	9
		水	2	2	2	2	2	2	2		休	9		水	2	2	2	2	2	2	休	7
		木	2	2	2	2	2	2	2					木	3	3	3	2	1	1	1	
	金	3	3	3	3	3	3	3	3			金	2	2	2	2	2	2	2			
〔職〕職員会議 〔学〕学年会議 〔入〕入力完了 OS:オープスタディ 〔看〕看護模試																						
〔査〕査定会議 〔旅〕旅行委員会 〔票〕個票提出 〔河〕全統模試 〔公〕公務員模試																						
〔運〕運営委員会 〔掃〕掃除 〔表〕一覧表提出 〔進〕進研模試 〔就〕就職模試																						
〔評〕学校評価委員会 〔係〕各係会議 〔駿〕駿台模試 〔論〕小論文模試																						
〔カ〕カリキュラムマネジメント委員会 〔代〕代ゼミ模試 〔学研〕学研模試																						

令和4年度 部活動 顧問一覧(4/1現在)

文化局

部名		顧問名	
写真		○古賀 直行 赤池 和佳奈	
美術		○古屋 直子 小佐野 紗和子	
放送		○島袋 あゆみ 畠山 尚也	
音楽		○徳満 裕樹 石原 みち代	
吹奏楽		○小佐野 拓 土屋 政統	(広瀬)
書道		○堀川 萌美 小川 由希子	
数理部	数学班	○有野 将太	左記は代表者 教科でバック アップ
	物理班	○宮下 一幸	
	化学班	○川久保幸大	
	生物班	○宮下 卓大	
茶道		○志村 和美 米山 直美	
華道		(休部)	
箏曲		○久保田 幸代 羽田 あゆみ	
社会研究		○土屋 美昭 宮下 昇	
囲碁・将棋		○堀内 寛子 萱沼 徳重	
ESS		○小林 美樹 新城 美佳	

生徒会 ○萱沼 渡邊勇 三木 徳満 三浦
成島 根津 今江

文化局 13部(うち、休部1)

体育局 21部(うち、休部2)

合計 34部(うち、休部3)

体育局

部名		顧問名	
陸上		○北村 春菜 小佐野紗和子	
野球		○長田 敏夫 河野 伸哉	三浦 有暉
剣道		○今江 晴菜 小川由希子	
サッカー		○小河内竜之介 三木 康司	
★スケート		○在原 綱樹 宮下 弘文	
柔道		○(生徒会)	
ハンド(男)		○根津 真一	舟久保 豊
ハンド(女)		○田村 貞文	
ラグビー		○藤原 剛 徳満 裕樹	
卓球		○赤池 和佳奈 土屋 美昭	
バスケ(男)		○渡辺 浩一	堀川 萌美
バスケ(女)		○渡辺 文章	
バレー(男)		○村松 親志	日向 敦子
バレー(女)		○宮下 一幸	
ソフトテニス(男)		○宮川 卓大	有野 将太
ソフトテニス(女)		○川久保 幸大	
ボート		○萱沼 徳重 広瀬 庄一	
★ヨット		○天野 喬文 成島 未彩	
☆弓道		○小松 秀幸 土屋 政統	
☆ウエイト		○渡邊 勇人 藤田 晴彦	
山岳		(休部)	

↑ 山梨県高等学校強化指定部、★男女指定、☆男子指定、◎女子指定

※上記、部活動以外の種目の校外活動について

- ・規程類集(生徒会部関係 P10)に定めるところにより、認めるものとする。
- ・担当顧問は該当生徒が所属する学年の職員を基本とする。

令和4年度 生徒委員会 顧問一覧表

委 員 会 名	担 当	顧 問 名 (○印 主顧問)	人数
保健委員会	保健環境	○ 久保田 幸代 大原 侑子	2
体育委員会	生徒会	○ 渡邊 勇人 三浦 有暉	2
マナーアップ委員会	生徒指導	○ 渡辺 文章 三浦 有暉	2
環境管理委員会	保健環境	○ 土屋 美昭 古賀 直行	2
図書委員会	総合研修	○ 宮下 弘文 日向 敦子 川久保 幸大	3
防災委員会	生徒指導	○ 村松 親志 根津 真一	2
クラブ審議委員会 (評議会)	生徒会	○ 萱沼 徳重 渡邊 勇人	2
蒼風祭実行委員会	生徒会	○ 徳満 裕樹 萱沼 徳重 成島 未彩	3
選挙管理委員会	生徒会	○ 今江 晴菜 徳満 裕樹	2
グリーンプラン委員会	保健環境	○ 古賀 直行 土屋 美昭	2
ボランティア委員会	生徒会	○ 根津 真一 成島 未彩	2
視聴覚委員会	総務	○ 小松 秀幸 島袋 あゆみ	2
あかふじ編集・新聞 委員会	生徒会	○ 成島 未彩 根津 真一 萱沼 徳重	3
応援委員会	生徒会	○ 三浦 有暉 渡邊 勇人	3
LHR 運営委員会	生徒指導	○ 三木 康司 今江 晴菜	2
家庭クラブ代議員会	家庭科	○ 萱沼 徳重	1
修学旅行委員会	2 学年	○ 宮下 一幸 赤池 和佳奈	2
アルバム編集委員会	3 学年	○ 萱沼 徳重 古賀 直行	2

学校番号	26
学 校 名	吉田高等学校
学 科 名	普通科

学年	1	テーマ	地域の一員として、想像する(富士山学Ⅰ)					探究課題	個人の設定した課題による地域探究									
回数	月日	曜	時限	時数	単元	学習内容	主なねらい	プロセス				形態	会場	担当	備考	評価計画		
								①	②	③	④					知	思	主
1	4月13日	水	6	1	富士山学Ⅰ	富士山学ガイダンス	探究活動の目的・手法などを理解する	○				学年	体育館	担任	Classiアンケート			
2	4月20日	水	6	1	富士山学Ⅰ	オリエンテーション	探究活動でどのような視点が必要なのか、理解する。	○				学年	体育館	担任				①
3	5月18日	水	##	3	富士山学Ⅰ	地域講演会	社会にはどのような課題が存在し、自分はある分野に興味・関心があるのか、考察する。	○				HR	HR	担任	外部講師招聘	①		
4	5月25日	水	6	1	富士山学Ⅰ	課題整理	自ら設定した課題について、個人で探究活動をする	○				HR	HR	担任	課題設定シート			①
5	6月8日	水	6	1	富士山学Ⅰ	アイデア発掘	先輩の話を聞き地域の学校としてどのようなことを学ぶべきか考える	○				HR	HR	担任				
6	6月15日	水	6	2	富士山学Ⅰ	プロジェクト223	自ら設定した課題について、個人で探究活動をする		○			学年	視聴覚室など	担任	富士吉田商工会議所青年部	②		
7	6月22日	水	6	1	富士山学Ⅰ	アイデアまとめ	3年生が行った富士山学の内容について知る		○			HR	HR	担任	企画書・Classiアンケート		①	
8	6月29日	水	6	1	富士山学Ⅰ	学園祭探究	成年年齢引き下げに備え、社会人として必要な知識を養う。			○		HR	HR	担任				
9	7月6日	水	6	1	富士山学Ⅰ	3年生コラボ	今後の課題研究(富士山学)について、先進事例を調べ自ら計画を立てる			○		HR	1年生と3年生の各教室	担任				
10	7月13日	水	6	1	富士山学Ⅰ	探究実践に向けて	いろいろな情報を集めるための方法論を学習する			○		HR	HR	担任				②
11	8月24日	水	6	1	富士山学Ⅰ	発表会準備	大学では、どのような課題を研究しているのか、理解する。			○		HR	HR	担任			②	
12	8月31日	水	6	2	富士山学Ⅰ	中間発表	各自の調査等を発表し、他の人からアドバイスをもらう				○	HR	HR	担任	中間発表報告書・Classiアンケート		③	
13	9月14日	水	6	1	富士山学Ⅰ	RESAS探究	課題を解決する方法を、多角的・多面的に考察させる。			○		HR	HR	担任		②		
14	9月28日	水	6	2	富士山学Ⅰ	楽問楽学	課題を解決する方法を、多角的・多面的に考察し新たな企画書の作成をする。		○			HR	視聴覚教室	担任				
15	10月12日	水	6	1	富士山学Ⅰ	校外学習行先決定	富士山学を経験している3年生から助言をもらう			○		HR	HR	担任		③		
16	10月17日	月	6	2	富士山学Ⅰ	吉高学	様々な人の意見を参考にして企画を再構築する		○			学年	HR	担任	外部講師招聘			
17	10月19日	水	6	1	富士山学Ⅰ	消費者教育	成年年齢引き下げに備え、社会人として必要な知識を養う。		○			学年	HR	担任	外部講師招聘			
18	11月2日	水	6	1	富士山学Ⅰ	成果物制作	自分の考えた企画について実地検証をする				○	HR	HR	担任				②
19	11月9日	水	6	1	富士山学Ⅰ	成果物制作	実地検証に基づいた成果をまとめる				○	HR	HR	担任	(成果報告)			②
20	11月16日	水	##	3	富士山学Ⅰ	校外学習	発表に向けたスケジュール、再検証をする事項などをまとめる				○	学年	校外	学年	フィールドワーク			②
21	12月7日	水	6	1	富士山学Ⅰ	校外学習振り返り	実地検証に基づいた成果をまとめる				○	HR	HR	担任		③		
22	12月14日	水	6	1	富士山学Ⅰ	まとめ	実地検証に基づいた成果をまとめる				○	HR	HR	担任			②	
23	12月21日	水	6	1	富士山学Ⅰ	まとめ	実地検証に基づいた成果をまとめる				○	HR	HR	担任			②	
24	1月11日	水	6	1	富士山学Ⅰ	資料作成	それぞれの成果物をクラス内で発表する			○		HR	HR	担任			③	
25	1月18日	水	6	2	富士山学Ⅰ	クラス発表	各クラスの優秀発表を学年全体で共有する				○	HR	HR	担任	PPT・レポート提出・Classiアンケート			③
26	1月25日	水	6	2	富士山学Ⅰ	学年発表	今年度を振り返り、次年度に向けての課題設定をする				○	学年	体育館	担任				③
27	2月8日	水	6	1	富士山学Ⅰ	2学年発表見学	2年次の発表について、イメージを持つ			○		学年	体育館	担任				
28	2月15日	水	6	1	富士山学Ⅰ	振り返り・課題設定	共通の課題を持つ生徒とグループをつくる			○		HR	HR	担任			①	
29	3月15日	水	6	1	富士山学Ⅰ	グループ分け	次年度に向けたグループ学習の方法を学ぶ	○				HR	HR	担任	Classiアンケート			③
30																		
31																		
32																		
33																		
34																		
35																		

学年		2		テーマ		地域の一員として、創造する(富士山学Ⅱ)					探究課題		グループによる、地域の課題探究									
回数	月日	曜	時限	時数	単元	学習内容	主なねらい	プロセス ①②③④				形態	会場	担当	備考	評価計画 知思主						
1	4月13日	水	6	2	富士山学Ⅱ	分野長決め・まとめ	2年次の富士山学について1年次の体験をもとに再構築する	○				学年	体育館	学年	Classiアンケート							
2	4月20日	水	6	1	富士山学Ⅱ	情報収集シート	グループで設定した課題について検討し、探究活動をすすめる	○				HR	HR	正副担任				①				
3	5月18日	水	567	3	富士山学Ⅱ	地域講演会	地域で活動している方たちの話を伺い、問題点を知る		○			学年	視聴覚室など	学年								
4	5月25日	水	6	2	富士山学Ⅱ	プレゼンボード	前時の講座をもとに課題の問題点を把握する	○		○		HR	HR	正副担任	課題設定シート提出		①					
5	6月8日	水	6	1	富士山学Ⅱ	プレゼンボード直し	校外学習での問題点をグループで共有する	○	○	○		HR	HR	正副担任		①						
6	6月15日	水	6	2	富士山学Ⅱ	プロジェクト223	地域で活躍する方々の話を聞いて、地域の未来を考える		○			HR	視聴覚室など	正副担任								
7	6月22日	水	6	1	富士山学Ⅱ	振り返り	プロジェクト223でのアドバイスから、設定課題を分析する		○	○		学年	HR	正副担任								
8	6月29日	水	6	1	富士山学Ⅱ	学園祭探究	集団で問題解決する際の方法を知り実践する			○		HR	HR	正副担任								
9	7月6日	水	6	1	富士山学Ⅱ	探究実践に向けて	夏休み中の実践に向けて計画を立てる			○		HR	HR	正副担任		②						
10	7月13日	水	6	1	富士山学Ⅱ	探究実践に向けて	中間発表に向けて追加の調査項目があるか検討し夏休み中の計画を立てる	○			○	HR	HR	正副担任	企画書Classiアンケート							
11	8月24日	水	6	1	富士山学Ⅱ	探究実践のまとめ	校外活動と夏休みのアンケート・追加調査の取りまとめをする				○	HR	HR	正副担任			②					
12	8月31日	水	6	1	富士山学Ⅱ	中間発表準備	これまでの課題探究についてまとめ、プレゼン資料を作成する		○	○		HR	HR	正副担任				②				
13	9月14日	水	6	1	富士山学Ⅱ	校外学習準備	見学内容やインタビューの内容について検討する		○			HR	HR	正副担任								
14	10月5日	水	6	1	富士山学Ⅱ	中間発表準備	これまでの課題探究についてまとめ、プレゼン資料を作成する		○	○		HR	HR	正副担任				③				
15	10月12日	水	567	3	富士山学Ⅱ	校外学習	実社会のヒト・モノ・コトに触れ、これまでの学びを検証する		○			HR	校外	学年				③				
16	10月17日	月	6	1	富士山学Ⅱ	校外学習まとめ	校外学習における発見をまとめる			○	○	学年	HR	制服担任			③					
17	10月19日	水	67	2	富士山学Ⅱ	中間発表準備	中間発表に向けて発表内容を整理する			○		HR	HR	正副担任								
18	10月26日	水	6	1	富士山学Ⅱ	中間発表	中間発表でこれまでの学びを振り返る				○	HR	HR	学年	中間発表報告書Classiアンケート	③						
19	11月2日	水	6	1	富士山学Ⅱ	修学旅行探究	日ごろ住み慣れた地域だけでなく他地域についても理解を深める		○			学年	HR	学年								
20	11月9日	水	##	1	富士山学Ⅱ	修学旅行探究	日ごろ住み慣れた地域だけでなく他地域についても理解を深める			○		HR	HR	正副担任								
21	12月7日	水	6	1	富士山学Ⅱ	18歳成人講座	成年年齢引き下げに備え、社会人として必要な知識を養う。				○	学年	校外または校内	学年								
22	12月14日	水	6	1	富士山学Ⅱ	成果物作成	最終資料として、これまでの成果をプレゼンテーションソフトにまとめる			○		HR	HR	正副担任								
23	12月21日	水	6	1	富士山学Ⅱ	成果物作成	最終資料として、これまでの成果をプレゼンテーションソフトにまとめる			○		HR	HR	正副担任		③						
24	1月11日	水	6	1	富士山学Ⅱ	成果物作成	最終資料として、これまでの成果をプレゼンテーションソフトにまとめる				○	学年	HR	正副担任			③					
25	1月18日	水	67	2	富士山学Ⅱ	分野別発表会	実地検証に基づいた成果を発表する				○	HR	視聴覚室など	正副担任	PPT・レポートめ切							
26	1月25日	水	67	1	富士山学Ⅱ	発表会準備・お礼状	全体発表会に向けて、プレゼンの準備を行うとともに、お世話になった方へのお礼状を作成する				○	学年	HR	学年				①				
27	2月8日	水	6	2	富士山学Ⅱ	全体発表会	全体で優秀な内容の発表を共有する				○	HR	体育館	正副担任								
28	2月15日	水	6	1	富士山学Ⅱ	振り返りアンケート	1地年間を振り返り全体の活動をまとめる				○	HR	HR	正副担任		③						
29	3月15日	水	6	1	富士山学Ⅱ	振り返りアンケート	今年度の活動をもとに来年度の探究の内容を検討する				○	HR	HR	正副担任	Classiアンケート							
30																						
31																						
32																						
33																						
34																						
35																						